

虎の門病院における無痛分娩マニュアル【産婦人科】

1. 対象

無痛分娩の希望のある方。医学的に無痛分娩が望ましいと判断されて同意が得られた方。
初産婦経産婦どちらも可。

2. 実施日

平日に計画分娩としている。

3. 妊娠中の手続き

- 1)妊娠 16～20 週の分娩申し込み時に初回の希望を調査する。
- 2)妊娠 35～36 週頃 産科外来で無痛分娩の説明、麻酔科受診。

4. 入院

- 1)前日入院を原則とする。原則は初産婦午前入院、経産婦午後入院。
- 2) 原則、初産婦は 2 回頸管拡張をし、経産婦は夕方に 1 回拡張。所見により随時変更。
- 3)麻酔開始 2 時間前から禁食とする。

朝食は午前 6 時に配膳し 8 時までに摂取を終了する。

クリアウォーターのみ可 経口補水液は病棟の自販機でも購入可。病院提供不可

5. 当日のスケジュール

- 1)胎児心拍モニタリングは 6 時から 30 分間以上実施する。

20G（または 18G）で 1 本ルート確保。

2)分娩誘発開始

胎児心拍モニタリングで異常がないことを確認したら、初産婦は 6 時 30 分から、経産婦は 7 時頃から陣痛誘発薬（アトニンないしプロスタルモン F）を開始する。

3)硬膜外カテーテル挿入

原則として午前 9 時頃に硬膜外カテーテルを挿入する。ただし分娩進行しており早めにカテーテル挿入したほうがよいと判断した場合は 7 時 30 分以降に麻酔科医に相談する。

使用薬剤；塩酸メピバカイン、アナペイン、フェンタニル

症例毎に量や濃度は調整。

子宮口 5cm 開大を目安に投薬開始。投薬開始したら尿道カテーテル留置し、分娩直前に抜去する。硬膜外カテーテルは分娩後 2 時間を目安に抜去。

【料金】（自然分娩の費用に追加して）15 万円

- 1) 予定日前に陣発して分娩に至った場合は自然分娩と同様の扱い。（説明代などはかからず）
- 2) 硬膜外カテーテルを挿入した時点で 15 万円費用は発生する。
- 3) 再入院しても一律 15 万円のままで 30 万円にはならない。ただし、入院時の医療行為、使用薬剤、部屋代、食事代などの諸費用は請求となる。

6. 有害事象発生時

無痛分娩関係学会・団体連絡協議会(JALA)により定められた有害事象が発生した場合は、有害事象調査票を作成し、有害事象報告フォームを介して JALA へ報告する。